

**口は人を励ます言葉や感謝の言葉を  
言うために使おう**

**耳は人の言葉を最後まで聴いてあげる  
ために使おう**

**目は人のよいところを見るために  
使おう**

**手足は人を助けるために使おう**

**心は人の痛みがわかるために使おう**

ある中学校の先生が病気になり、半身不随になってしまいました。もう現場復帰も無理な状態でしたが、なんとしてでも生徒達の元にもどりたくと、苦しいリハビリを続け、奇跡的に回復しました。

再び生徒の前に立つことができるようになり、卒業する子供たちに送りたい最後の言葉です。

現在は『[命の授業](#)』として、全国の子供達に届けています。

美唄市 正教寺 永岡誓世



